


12月定例会 一般質問要旨



高齢者の交通手段確保について



日本共産党 石井 ひろみつ

議員 本市における高齢者の買い物支援について、いつからどのような形で行う予定であるか伺います。

健康医療部長 買い物支援については、お茶の間カフェのイベントの一環としての実施を考えています。コロナ禍でお茶の間カフェ自体が休止していましたが、順次再開しており、今後買い物支援も始まる予定です。



議員 お茶の間カフェは担い手自体が高齢者であり、高齢者が高齢者を送迎している状態です。担い手の若返りは可能か、また高齢者タクシー券の交付についても所見を伺います。

健康医療部長 お茶の間カフェは高齢

者の働く場でもあるため、細心の注意を払いながら、現状のまま実施したいと考えます。また、現時点では高齢者タクシー券の交付は考えていません。


議員 館林市では高齢者タクシー券の交付を行っており、本市でも館林市の事例を参考に検討する価値はあると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 高齢者タクシー券の交付は考えていません。


議員 高齢者タクシー券を出さないのであれば、おうかがい市バスを充実させるなど、他の手立てを講じる必要があると考えますが、所見を伺います。

市長 現在、おうかがい市バスは1人で乗車しているケースが多くなっています。複数人で乗車することで、効率的に運行できるように改善していきたいと思

■その他の質問
・燃料高騰による低所得者世帯への暖房費等の負担軽減について



地域経済と市の財政に重要な役割と責任を負う公契約制度の改善について



日本共産党 水野 正己

議員 本市発注の建設工事における、くじ引きでの落札件数について、過去3年間の推移を伺います。

総務部長 令和元年度は147件で51.9%、2年度は143件で49%、3年度は9月末時点において89件で61%となります。

議員 本市が採用している中央公契連モデルについて伺います。



総務部長 本市では、平成25年中央公契連モデルを採用しています。

議員 最新の平成31年モデルと平成25年モデルとの違いを伺います。

総務部長 平成31年モデルでは、予定

価格に対する最低制限価格の設定割合が、より予定価格に近いものとなります。

議員 なぜ最新の平成31年モデルを採用しないのか伺います。

総務部長 本市は条件付指名競争入札を原則とし、予定価格と最低制限価格を事前公開する等競争性・透明性の高い入札となっています。応札額も適正で、品質にも問題がないことから、平成25年モデルを採用しています。

議員 くじ引きによる落札が多い背景として、業者がとにかく仕事をとるために最低制限価格で応札していることが考えられます。ダンピング防止の観点からも、まずは最新モデルに変更すべきと考えますが、所見を伺います。

総務部長 中央公契連モデルの変更については、今後も入札審査委員会に諮り、決定していきたいと思

■その他の質問
・市民サービスの担い手である職員のモラル向上について



発達障がい児・者への支援について



創政クラブ 大川 陽一

議員 発達障がいの可能性のある子を育てるには、早期の適切な療育が重要と考えます。多くの保護者が発達相談から療育へのワンストップ支援を望んでいますが、現状と所見を伺います。

福祉こども部長 令和元年度から、発達障がい支援センターにじいろへ心理士を配置し、相談業務の充実を図りました。ワンストップ支援に関しては、今後の課題としたいと考えます。

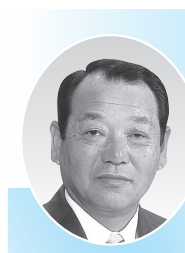
議員 鈴鹿市の「5歳児集団適応健診」では、平成30年度の受診率は94.7%で、受診者のうち7.6%の児童が新たに支援が必要とされ、個別に支援が行われています。一方、本市では「年中さんすこやか相談」として、今年度は5歳児1,937人を対象に相談の希望を募りましたが、申し込みはわずか2%でした。本市独自の5歳児健診を実施すべきと考えますが、所見を伺います。

健康医療部長 必要な支援につなぐため、子どもの気になる行動に保護者が気


付くことが重要と考えます。現状ではすこやか相談を続ける見通しです。

議員 鈴鹿市の5歳児健診は、本市のすこやか相談とほぼ同じ方法で行われており、本市でも実現可能と考えます。健診を通して保護者と十分に情報交換し、必要な支援につなぐことで、全ての児童が元気に楽しく小学校生活を送れるようになってほしいと思いますが、市長の所見を伺います。

市長 健診により発達障がいを発見しやすくなり、児童や保護者が困らずに済むようになるならば、ぜひ実施すべきと考えます。鈴鹿市の事例を検証しながら進めていきたいと思

(仮称)太田西複合拠点公共施設 周辺整備について



太田クラブ 町田 正行

議員 現在の新田図書館の延べ床面積と蔵書数を伺います。

文化スポーツ部長 延べ床面積は1,952.45平方メートル、蔵書数は令和2年度末で18万5,418点です。



議員 現在の新田保健センターの延べ床面積を伺います。

健康医療部長 1,292.29平方メートルです。

議員 (仮称)太田西複合拠点公共施設において計画されている図書館の延べ床面積と蔵書数、また、保健センターの延べ床面積を伺います。

企画部長 図書館は約2,200平方メートル、蔵書数は約23万冊、保健センターは約920平方メートルを予定しています。

議員 計画では保健センター等の面積が足りないと感じます。将来も見据えて十分な面積と機能を確保すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 現在の住民・利用者を大切に、施設の在り方を考えたいと思います。各担当からの希望を調整し、必要なスペースを確保したいと思

議員 施設周辺に、子どもたちが遊具で遊べる公園を造ってほしいと考えますが、所見を伺います。

市長 せっかくなら子どもたちがより楽しめるものを造りたいと考えます。新市民体育館建設と同じような手法で民間事業者

に建設や運営協力を依頼し、可能な限り税金を使わずに建設が可能かどうかを検討しています。
■その他の質問
・本市の農地の利用推進について
・(仮称)太田市運動公園市民体育館周辺整備・群馬クレインサンダーズについて